

令和6年度第2回連携中枢都市圏ビジョン懇談会 事前意見一覧

	資料No.等	意見等	回答	担当課	提出委員
1	資料3-1	作成の目的と対象者を伺う。 行政関係者向けの資料ということなら、このままでよいと思うが、広く住民向けということなら、少し工夫が必要かと感じた。もし、資料が住民向けということなら、数字の根拠や、細かな施策については、QRコードで詳細ページに飛ぶことにして、「こういう取り組みをしていますよ」「こんな風に便利にしたいと思っていますよ」といったメッセージが、視覚的にわかるような資料が良いのではないと思う。	貴重なご意見ありがとうございます。 本戦略は、連携中枢都市圏ビジョンに定めた事業の中から、圏域の市町が連携して重点的に取り組む主な事業を定め、推進することで、圏域の地域創生をより効果的に加速させるために作成しました。 対象者につきましては、行政関係者だけではなく、圏域住民の方に広く知っていただきたいと考えておりますので、いただいたご意見も参考にしながら、今後、周知方法について研究・工夫をしてまいります。	鳥取市企画推進部政策企画課	坂本委員
2	資料1-3 3.事業の内容 対象者 ①麒麟のまち 圏域在住の学生	対象者となる圏域在住の学生（大学生、専門学生）は何人いるのか？	麒麟のまち圏域の大学や専門学校（公立鳥取環境大学や鳥取大学、鳥取市医療看護専門学校等）に通学している学生の人数は、約6,900人です。 なお、本事業につきましては、麒麟のまち圏域の学校に通学している学生のほか、麒麟のまち圏域に在住し、圏域外の学校（例えば、倉吉市の鳥取看護大学など）に通学している学生も対象としております。	鳥取市企画推進部政策企画課	平井委員
3	資料3、3-1 「因幡・但馬麒麟のまち創生総合戦略」の策定について	重点事業に位置づけることによって、今までと何が変わるのか？ KPIの目標値は連携中枢ビジョンのままであるが、具体的にはどのように取り組もうとしているのか？ 「取り組みをより効果的に推進するため」、「圏域の地方創生を加速させるため」とか述べているが、「効果的」、「加速させる」とは、具体的にはどのような取組内容なのか？（例えば事業費が増えるのか？体制が変わるのか？など）	連携中枢都市圏ビジョンは重点事業を定めず、84事業を並列的に展開しておりました。 このたび本戦略を策定し、ビジョンを構成する事業のうち、地方創生に関わりの深い事業を重点事業として位置づけることで、圏域の市町が連携して優先的に取り組む事業を明確にするとともに、地方創生2.0を推進する国の交付金なども活用しながら、圏域創生に向けて事業展開を図りたいと考えております。 なお、本戦略に定めている重点事業やKPIについては、連携中枢都市圏ビジョンと整合させた造りとしており、連携中枢都市圏ビジョンの見直しと併せて、毎年度改定することとしております。	鳥取市企画推進部政策企画課	平井委員